

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立飯村小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫※注1

☐ 中学校 ☐ 中高一貫※注2 ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0835

豊橋市飯村南四丁目6番地の4

E-mail imure-e@toyohashi.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 355名 女子 372名 合計 727名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は豊橋市の東部に位置し、全校約730人が在籍している。校区内には旧東海道が通り、大蔵山を中心とする岩屋緑地があり、自然や歴史に富んだ地域である。この地域の特性を生かし、ESDとして総合的な学習の時間の中で地域に根ざした特色ある教育活動の推進している。

具体的には、環境、防災、食育を柱に、①公園での木の実拾いや町探検に係わる活動（1、2年）、②地域の特産物であるサツマイモに係わる活動（3年）、③校区内にある岩屋緑地に係る活動（4年）、④校区の歴史・地理に係わる活動（5年）、⑤校区内の防災対策に係わる活動（6年）を行っている。

①公園での木の実拾いや町探検に係わる活動（1、2年）

1年では「秋みつけ」の活動として「岩屋緑地に親しむ会」の方に木の実の種類を教えてもらいながら岩屋緑地で木の実拾いをした。2年では町探検の活動として校区内にある店や施設を訪問し、グループごとにまとめ、発表した。

②地域の特産物であるサツマイモに係わる活動（3年）

飯村の特産物であるサツマイモの作り方を校区の「おイモの先生」から学び、校庭の農園にサツマイモを育てた。その世話を通して収穫の喜びを味わうとともに、地域の人々との交流を図り、地域に愛着を深めるようにした。種類や育て方など、サツマイモについて興味をもったことを調べ、発表し合った。

### ③校区内にある岩屋緑地に係わる活動（４年）

里山を守るボランティア「岩屋緑地に親しむ会」の方と交流し、共に活動する中で、自分たちが岩屋緑地の自然と共存しているという意識を高めた。活動としてはグループで岩屋緑地を探索し、生殖している植物や生息している動物、建立している銅像などについて調べ学習をした。また、岩屋緑地でのオリエンテーリングでは「岩屋緑地に親しむ会」の方にも協力してもらい、ポイントごとに植物や銅像などの説明をしていただいた。活動のまとめとして、グループごとに新聞作りを行い、岩屋緑地について調べてわかったことや考えたことをまとめた。そして、お世話になった「岩屋緑地に親しむ会」の方と３年の児童を招いて、発表会を開いた。

### ④校区の歴史・地理に係わる活動（５年）

学校と校区の歴史や地理、特徴について調べ、学校と校区のよさに気づき、愛着を深めるようにした。地域の人たちの思いや願いを知り、その実現のために地域の人たちとともに、自分たちにできることを実行していこうという気持ちを高めた。

### ⑤校区内の防災対策に係わる活動（６年）

福祉の面から校区を見つめ、高齢者や校区の方にとって住みよい町になるようには、どうしたらよいか調べた。災害がこの町で起きたらどうなるかを考える活動を通して、自分たちが地域の一員であるという自覚し、自らすすんで行動しようとする心情を高めた。そして、わかったことや考えたことをまとめ、他学年や校区の人たちに発信した。



【サツマイモを植えている子どもたち（３年）】



【グループで発表している子どもたち（４年）】



【二川本陣で調べ学習をしている子どもたち（５年）】



【防災倉庫の備蓄品を調べている子どもたち（６年）】

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー          | <input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災           | <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動          | <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性     | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input type="checkbox"/> 8. 人権・平和            |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉         | <input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費             | <input type="checkbox"/> 12. 貧困              |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク        | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク         | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)  |  |
| <input type="checkbox"/> 16.ジェンダー平等       | <input type="checkbox"/> 17. その他( )        |   |  |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

|   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力                | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度    | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度    |  |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )              |  |

ウ. 活動時間（複数選択可）

|  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等            | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動                |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )       |  |

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

|          |
|----------|
| 特にありません。 |
|----------|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1、2年は生活科、3から6年は総合的な学習の時間の教育課程の中に、ユネスコスクールの活動として位置づけている。職員会議や学年会などで活動の内容や指導の方法、評価の仕方などを決めている。年度末において、本年度の振り返りを行い、次年度への活動内容、指導内容・方法などについて協議し、さらにより活動になるよう改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校内に「ESD主任」を設置し、ユネスコスクールの活動を担当している。「ESD主任」が各学年のユネスコスクールの活動の取り組みを把握し、各学年が円滑に活動できるようにコーディネートしている。

また、継続的に活動に取り組めるように、活動によっては下級生に活動の発表会に参加してもらい、次年度、自分たちがこの活動をしていくという意識づけを行っている。「岩屋緑地を親しむ会」の方には来年度以降も活動の主旨を理解してもらうとともに継続的な活動ができるように協力の依頼をしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

職員に対しては、教育活動の評価項目の中で1から5までの評価点で評価をしている。また、必要に応じて記述で回答をしている。保護者に対しては、保護者アンケートを行い、必要に応じて記述で回答をしてもらっている。

保護者や地域の方にも活動について理解していただいております、これまでの活動は概ね目標が達成されている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ホームページ、学校新聞でユネスコスクールの活動の様子を掲載し、保護者や地域の方に発信をしている。また発表会に「岩屋緑地に親しむ会」の方を招待し、岩屋緑地に関して調べたことについて発表している。これらを通して、保護者や地域の方が学校での教育活動について理解し、関心をもつようになってきている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の岩屋緑地に関しての活動については、里山を守るボランティア「岩屋緑地に親しむ会」の方と交流をし、岩屋緑地の自然や建造物などについて教えていただいている。  
来年度も「岩屋緑地に親しむ会」の方には活動への協力を依頼している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

豊橋市内の小中学校とユネスコスクールの活動の様子について交流をしている。他校の活動の様子を参考にし、自校の活動によいところを取り入れている。  
今のところ、国外や市外の学校との交流は考えていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

岩屋緑地をはじめとする地域のことに関して学習したことにより、休日や放課後に岩屋緑地などに出向き、草花やキノコを観察したり、昆虫を取ったりするなど、地域に親しみを持つようになった。また、活動を通してお世話になっている「岩屋緑地に親しむ会」の方とも普段から挨拶をしたり、気軽に話しかけたりするようになった。子どもたちが地域に愛着をもち、地域の方に親しみをもつようになった。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

1 年は岩屋緑地で「秋みつけ」の活動を行う。「岩屋緑地に親しむ会」の方に木の実の種類を教えてもらいながら岩屋緑地で木の実拾いを行う。身近な自然と係わり、季節の変化に気づくことができるようにする。

2 年は町探検として校区内にある店や施設の秘密を見つける活動を行う。校区内のさまざまな場所やもの、人に出会いながら、地域への親しみと愛着を深めるようにする。

3 年は地域の特産物であるサツマイモに係わる活動を行う。校庭の農園にサツマイモを育て、その世話を通して収穫の喜びを味わうとともに、地域の人々との交流を図り、地域に愛着をもつようにする。

4 年は校区内にある岩屋緑地に係わる活動を行う。里山を守るボランティア「岩屋緑地に親しむ会」の方と交流し、共に活動する中で、自分たちが岩屋緑地の自然と共存しているという意識を高める。

5 年は校区の歴史・地理に係わる活動を行う。学校と校区の歴史や地理、特徴について調べ、学校と校区のよさに気づき、愛着を深めるようにする。

6 年は校区内の防災対策に係わる活動を行う。福祉の面から校区を見つめ、高齢者や校区の方にとって住みよい町や災害が起きたときの行動の仕方について考える活動を通して、自分たちが地域の一員であるという自覚し、自らすすんで行動しようとする心情を高める。